



とくしま 県議会だより

第113号【年4回発行】

令和4年5月15日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/



2月定例会の概要 会期 令和4年2月10日～3月9日

新次元の分散型国土を創出する 令和4年度当初予算5,240億円などを可決

開会日には、令和3年度11月補正予算及び2月補正予算と合わせた「16か月予算」として編成された令和4年度当初予算などが提案され、新次元の分散型国土創出への具現化策などについて、知事から所信が述べられました。

また、開会中に、徳島県事業継続応援金の増額などの2月補正予算、徳島県版GoToトラベル事業及び鳴門総合運動公園整備事業を実施するための令和4年度補正予算が追加提案されました。

代表・一般質問では、早期の生活再建に向けた被災者支援等の防災・減災対策、海部野根道路の早期整備、地方創生実現のためのデジタル社会への取り組み、伝統産業の振興や新規就農者への支援等の産業振興施策、新型コロナウイルス感染症の後遺症に対する支援やフレイル予防等の保健医療施策、子ども食堂への支援等の福祉施策、そのほか、2025年大阪・関西万博への取り組み、公共交通の利便性の向上、とくしま記念オーケストラ事業などについて論議しました。

今定例会では、「外国人材の円滑な受入れの実施に向けた意見書」等の意見書4件、決議1件、条例1件、条例改正1件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案88件を原案どおり可決・同意しました。

2月定例会の主な審議の結果

●可決・同意された議案

○令和4年度当初予算

・一般会計（1件）／当初予算額は5,239億800万円で、前年度比101.8%

・特別会計（20件） ・企業会計（6件）

○令和4年度補正予算

・一般会計（1件）／補正予算額は38億5,400万円の増額で、補正後の予算は、5,278億3,400万円

○令和3年度補正予算

・一般会計（3件）／補正予算額は172億2,229万8千円の増額及び89億5,218万7千円の減額で、補正後の予算は、5,843億2,008万4千円

・特別会計（18件） ・企業会計（5件）

○条例の制定（2件）

・とくしま健康長寿社会づくり条例（議員提出）
・畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行条例

○条例の改正（22件）

・徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正（議員提出）

・徳島県危機管理環境関係手数料条例の一部改正 など

○指定管理者の指定（1件） ○契約案件（5件）

○人事案件（2件） ○その他（4件）

●可決された意見書・決議（5件）

・外国人材の円滑な受入れの実施に向けた意見書

・台湾の世界保健機関（WHO）への参加を求める意見書

・新疆ウイグル等における人権侵害問題の解決に向けた適切な対応を求める意見書

・ロシアのウクライナ侵略に抗議する決議

・国民の休日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。



徳島県議会 定例会の概要

検索

新正副議長紹介

正副議長選挙が行われ、議長に南議員、副議長に井川議員が選ばれました。



第96代議長

南 恒生（みなみ つねお）
美馬選挙区（当選4回）63歳

略歴 副議長、総務委員会委員長、経済委員会委員長などを歴任



第107代副議長

井川龍二（いかわ りゅうじ）
徳島選挙区（当選3回）61歳

略歴 総務委員会委員長、文教厚生委員会委員長、関西広域連合議会議員などを歴任



議員提案による政策条例を制定しました

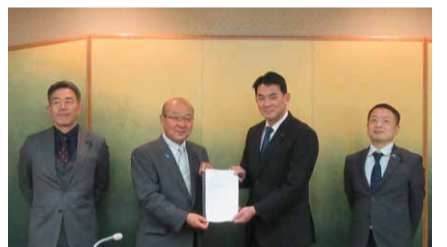
全会派で組織する政策条例検討会議で検討を重ね、次の政策条例を制定しました。

とくしま健康長寿社会づくり条例

昨今、新型コロナウイルスの感染拡大をはじめ社会環境が大きく変化する中で、高齢者が社会的に孤立したり、生活不活発につながりやすい状況にあり、フレイルのリスクが高まることが懸念されています。

この条例は、健康長寿社会づくりに関し、基本理念を定め、県の責務や関係団体等の役割を明らかにすることで、県民誰もが生涯にわたり健康で生きがいを持って生き生きと活躍できる地域社会の実現に寄与することを目的としています。

皆さま一人一人が主体的に健康長寿社会づくりに取り組み、条例の趣旨が広がっていくよう、御協力をお願いします。



岩丸議長（中央左）に検討結果報告書を提出する政策条例検討会議の岩佐座長（中央右）



高校生との意見交換会を実施しました



県議会では、高校生の皆さんに、県議会や議員活動等に対する関心を高めてもらうことを目的として、議員との意見交換会を実施しています。

令和4年1月17日、阿波高等学校において生徒11名と議員3名で行った意見交換では、災害への対応力、成人年齢の引き上げによるメリットやデメリット、子育て支援、外国人労働者への対策などについて質問や意見が出され、活発な議論が交わされました。

また、令和4年1月20日、城西高等学校において生徒10名と議員3名で行った意見交換では、議員活動のやりがい、過疎化対策、地産地消を促す方策、パートナーシップ制度、徳島のPR策などについて質問や意見が出され、活発な議論が交わされました。



手指消毒、換気、マスク着用等、新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、実施しました。

代表質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

新年度予算編成後の財政
状況と将来負担への備えは



みなみ つねお
南 恒生
(徳島県議会自由民主党)

問 予算編成に当たり、必要な財源の確保や全ての県債残高の縮減にどう取り組んだのか。また、今後の大規模プロジェクト等の財政負担にどう備えるのか。

答 国への政策提言により、新型コロナ対策の財源や一般財源総額を確保し、全ての県債残高減少を実現。令和3年度の歳入増加を活用し、基金に積み立てを行い、今後に備える。

問 SDGs達成や脱炭素に向け、新たな政策創造や国際連携が重要。消費者政策の恒常的拠点たる消費者庁新未来創造戦略本部と一層の連携を図り、新たな挑戦をすべき。

答 サステナブルファッションの浸透を図り、徳島モデルとして発信する。また、今秋開催予定の国際フォーラムにて、内外の学生等による未来セッションを新たに実施する。

問 医療機関の電子化が進み、サイバー攻撃のリスクが高まっている。特に、人員や財務上の問題からセキュリティ対策が難しい小規模医療機関に対し、どう対応するのか。

答 モデル医療機関で課題を抽出し、これを踏まえて、医療機関の規模ごとにサイバー攻撃による事故対応マニュアルやチェックリストを作成し、研修会を通じて周知する。

コロナ禍からの本県経済
回復に向け支援を講ずべき



しげきよよしゆき
重清佳之
(徳島県議会自由民主党)

問 繰り返される経済の停滞は、事業継続への気持ちを失わせないかと大変危惧する。コロナ禍に直面する事業者に対し、どのような支援を講じ、本県経済の回復に取り組むのか。

答 飲食業をはじめ全ての業種を対象とする徳島県事業継続応援金を新たに創設。さらに、国の事業復活支援金との併給も可能とし、直ちに申請受け付けを開始する。

問 野球を活用した地域活性化のため、オロナミンC球場をプロ野球が開催できるよう整備すべき。また、杉本裕太郎選手に対し、県表彰の贈呈を検討すべき。

答 内野スタンドを全面改築し、2万人収容の球場へと再生することで、プロ野球公式戦が開催可能な夢と希望あふれる球場を目指す。杉本選手への県表彰は、前向きに検討する。

問 公務員獣医師の確保は全国的に厳しい状況が続いているが、本県の畜産業や食の安全・安心を守るため、獣医師職員の確保対策に、今後どのように取り組むのか。

答 獣医師修学資金の貸与対象範囲や人数を拡大する。また、若手獣医師職員が県内高校生に出前授業等を実施し、公務員獣医師の重要性や魅力を積極的にPRする。

児童生徒一人一台端末のさらなる活用に向け支援強化を



ながいけふみたけ
長池文武
(新しい県政を創る会)

問 児童生徒一人一台端末をどこでも最大限に活用できることがGIGAスクール構想の目指すところである。さらなる有効活用に向け、学校や家庭への支援を強化すべき。

答 学校への効果的な取り組み事例の提供、新設するGIGAスクール運営支援センターでの学校や家庭からの相談に応じるヘルプデスクの設置等、一層の支援策を講じる。

問 大型ダンブカーが頻繁に往来する県道小松島佐那河内線田浦地区における通学路の歩道未整備区間について、今後、交通安全対策にどのように取り組んでいくのか。

答 児安小学校から認定こども園に至る歩道整備が完了。令和4年度は、通学児童の多い認定こども園から西側区間の測量調査に着手。今後とも通学路の交通安全対策を進める。

問 神田瀬川の河口部護岸は、地域住民から老朽化を心配する声も多く、地元の防災組織から修繕要望が上がっている。老朽化対策にどのように取り組んでいくのか。

答 これまでも修繕等の適切な維持管理に取り組んできたが、予防保全型維持管理を進めるため、神代橋付近から河口に向けた護岸の現状把握調査に令和4年度から着手する。

一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

気候変動対策として暮らし
の脱炭素化を進めるべき



おつかあきひろ
大塚明廣
(徳島県議会自由民主党)

問 2050年カーボンニュートラル実現には暮らしの脱炭素化が重要。家庭電力の再エネ由来電力への切り替えや自家用車の脱炭素化等の取り組みをどう進めるのか。

答 住宅用太陽光発電の導入拡大に向け、PPA事業や共同購入の普及促進のほか、エコ・クレジットモデルを創設。また、燃料電池自動車購入助成制度の対象を個人にも拡大する。

問 地球温暖化に伴う感染症拡大に備え、医療と獣医療の垣根を超えた「ワンヘルス」に環境の観点を加え、徳島ならではの取り組みとして、機能強化を図るべき。

答 環境分野の有識者を県動物由来感染症対策検討会の委員に加え、令和4年度早期に検討会を開催。専門家の知見を結集し、本県ならではの感染症対策を強力に推進する。

問 コロナ禍で生まれた価値観の変容を受けて、地方回帰の動きが現実的となつてきている。本県への移住の状況は。また、今後、移住促進にどう取り組むのか。

答 令和3年度上半期の移住者数は前年同期比54%増の1,041人。今後、本県が誇るSDGsコンテンツを活用し、魅力発信と新たな人のつながりの創出に取り組む。

生産現場活性化に向けた県産
農産物のPRと需要喚起を



きたじまかずと
北島一人
(徳島県議会自由民主党)

問 新型コロナの影響が長期化し、生産者や飲食店が厳しい経営を強いられる中、収束後も見据え、生産現場の活性化に向けた県産農産物のPRや需要喚起にどう取り組むのか。

答 県内外飲食店のメニューキャンペーンにより需要拡大を図る。また、首都圏でワークショップを、県内で「阿波ふうどフェスティバル(仮称)」を新たに開催し、魅力を発信する。

問 災害時における避難所のトイレは劣悪な衛生状態になりやすく、災害関連死を防ぐため、その対策は重要である。今後、良好な避難所環境の確保にどう取り組むのか。

答 徳島市と連携し、実際の避難所において簡易・仮設トイレの設置や衛生管理等の実践的な訓練を実施。その成果を踏まえ、避難所快適トイレ実践マニュアルを策定する。

問 経営者の高齢化と後継者難による廃業の増加が県内経済に大きな影響を与えることが懸念されるが、県内中小・小規模事業者の円滑な事業承継にどう取り組むのか。

答 事業承継・引継ぎ支援センターのネットワークを生かし、県下6会場で事業承継等の個別相談会を開催。また、専門家の活用経費の補助等、事業者ニーズに応じた支援を行う。

水素立県とくしまを国内外に
発信し、日本のGXけん引を



はら てつじ
原 徹臣
(徳島県議会自由民主党)

問 県南部への高速道路延伸や、未来社会の実験場である大阪・関西万博の開催などを見据え、水素立県とくしまを今後どのように展開していくのか。

答 燃料電池車両の県内主要バス路線への拡大、トラック等への実装に取り組むほか、県内の水素供給拠点整備に向け、候補地域や施設規模など具体的な検討を行う。

問 令和3年度中の策定を目指す新たな県消費者基本計画の特色である全世代への消費者教育をはじめ、同計画に盛り込む徳島ならではの施策を迅速かつ積極的に展開すべき。

答 成人や高齢者向けの施策のほか、若年者については、GIGAスクール構想の一人一台端末を活用し、学齢期や学校種別に応じた個別最適な消費者教育の進化を図る。

問 誰もが効率的に操業できる環境を整え、漁業の担い手は育つと考えるが、担い手育成・確保の鍵を握るスマート漁業の推進に向け、今後どのように取り組むのか。

答 スマート漁業の推進に不可欠な海洋データの収集・発信機能を強化した新たな漁業調査船の建造に着手するとともに、最先端の技術を活用できる人材育成に取り組む。

JR牟岐線新駅ありきの事業中止を



やまだ ゆたか 山田 豊 (日本共産党)

問 JR牟岐線新駅について、新駅ありきの事業を中止し、脱炭素の低床バスなどの運行も含め、市民・県民の同意を得るアクセスを検討すべきではないか。

答 新駅設置は、新ホールや周辺公共施設などの利用者にとって、既存の公共交通を最大限に活用する最も効果的な手法であり、中心市街地活性化にも資すると考えている。

問 新型コロナウイルス対応における徳島保健所の体制強化をはじめ、徳島市への保健所設置の働き掛けや、廃止された支所の復活などにより、徳島保健所の負担を軽減させるべき。

答 最前線基地となる徳島保健所の人員を大幅に拡充。専門人材確保等の課題から、徳島市への働き掛けは慎重に検討。支所機能はサービスセンターとして窓口業務を存続。

問 平成26年3月8日に行われた徳島ヴォルティスJ1ホーム開幕戦記念演奏会の経費において、演奏会経費とは全く関係のない経費が含まれているようだが、何の経費か。

答 演奏会事業執行は、ノウハウのある徳島県文化振興財団が担ってきた。適正に行われたことは、監査や情報公開、住民監査請求、住民訴訟等で客観的に確認されている。

とくしま記念オーケストラ事業の経費支払いの調査を



ふかわ あつし 扶川 敦 (護民官)

問 徳島ヴォルティスJ1ホーム開幕戦記念演奏会の精算時に、年度をまたいで別の事業費を紛れ込ませるなど論外のはず。どのような処理がなされていたのか調査すべき。

答 事業は事務局的機能を担う徳島県文化振興財団が主体となつて進めてきた。事業執行に関しては、県や財団において適正に処理され、そのことは客観的に確認されている。

問 元代表による脱税事件の刑事確定訴訟記録から、とくしま記念オーケストラ事業の新たな問題が明らかとなった。県自ら記録を入手し、内容を把握して県民に説明すべき。

答 不明な点については、可能な限り調査し、報告してきた。司法判断から3年以上経過する記録の取り扱いは慎重にすべきであり、閲覧・謄写による入手は考えていない。

問 障がい者を対象とした県職員の採用試験において、発達障がいも含め、その障がい特性を理由に採用から排除されることのないよう、配慮が必要と考えるがどうか。

答 採用選考に当たっては、事前に要望を伺い、就労支援機関の職員の同席等受験しやすい環境に配慮している。また、面接では、個々の障がい特性を踏まえ、公正に評価している。

飯尾川流域全体で水害に備える流域治水の取り組みを



ますとみよしあき 増富 義明 (徳島県議会自由民主党)

問 飯尾川の浸水被害の軽減を図るためには、これまでの堤防やダム整備による治水対策だけでなく、流域一体での水害への備えが重要。流域治水に今後どう取り組むのか。

答 河道断面の確保等のハード対策を着実に進める。また、浸水被害軽減のための開発許可の厳格化や、地元自治体との連携を強化し、ファミリータイムラインの作成支援を行う。

問 池田高校では、魅力化や部活動の活躍により県外からの入学生が大幅に増加している。コロナ対策の観点からも、総合寄宿舎を早期に増設すべきだが、今後の取り組みは。

答 三好寮の増設に向け、三好市と建設用地の選定協議を進める。個室や通信環境の整備、地域交流を促進する機能の付加等、新しい形の総合寄宿舎の早期整備に向けて取り組む。

問 国の経済対策に基づく収入引き上げの対象外となる介護施設の職員についても処遇改善を図るべき。また、介護サービスの利用の適正化に向けてどう取り組むのか。

答 対象外施設の処遇改善について、国への提言や必要な措置の研究を進める。また、国保連合会と連携した市町村研修会の開催など、適切なケアプラン作成を支援する。

インターネット上の誹謗中傷に対する取り組みの強化を



おかもと ゆうき 岡 佑樹 (無所属)

問 ネット上の誹謗中傷に対しては、利用者のモラル向上はもとより、警察の厳正な取り締りにより警鐘を鳴らすことが必要不可欠。県警察としてどう取り組んでいくのか。

答 犯罪に至る悪質なケースは、被害届を得て必要な捜査を実施。ネットリテラシー向上への取り組みや関係機関と連携した広報啓発を強化する等、所要の対策を講じる。

問 本県の伝統産業界において、異業種の民間団体が集まり、新たな団体の設立の動きがある中、県においても、伝統産業界の振興に向け、積極的に取り組むべき。

答 業界団体の動きに呼応する形で、県物産協会をはじめ、関係機関と連携し、全国規模の見本市への共同出展や、コラボ商品の開発など、創意工夫を凝らした取り組みを促進する。

問 食鳥副産物有効利用促進事業において、他の自治体ではほとんど支出されない補助金を徳島化製事業協業組合に長期にわたり支出しているのはなぜか。

答 養鶏産物の振興と畜産環境保全の観点から公益性の高い事業と認識。食鳥副産物の再資源化による循環型社会の実現等にも寄与。今後とも、事業の適切な制度運営に努める。

用語解説

※1 【SDGs】

2015年、国連持続可能な開発サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた国際目標のこと。2030年までに達成すべき17のゴールと169のターゲットで構成されている。

※2 【サステナブルファッション】

衣類の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組みのこと。

※3 【カーボンニュートラル】

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から森林などによる吸収量を差し引いて排出を全体としてゼロにすること。

※4 【PPA】

「Power Purchase Agreement (電力販売契約)」の略。電力を必要とする側が事業者側に敷地や屋根などのスペースを提供し、事業者側が設備の無償設置と運用・保守を行う。電力を必要とする側は電気料金を事業者側に支払う。

※5 【エコ・クレジットモデル】

住宅用太陽光発電による家庭での二酸化炭素削減量をカーボンオフセット(温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所の排出削減・吸収量で埋め合わせすること)を行う地元企業に販売する取り組みのこと。

※6 【ワンヘルス (One Health)】

人の健康を守るために、動物や環境における公衆衛生に関する分野にも配慮した取り組みを行うこと。

※7 【ファミリータイムライン】

住民(家族等)が、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめたもの。「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待される。

※8 【ネットリテラシー】

インターネット・リテラシーを短縮した言葉で、インターネットの情報や事象を正しく理解し、それを適切に判断、運用できる能力のこと。

※9 【DMO】

「Destination Management/Marketing Organization」の略。観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと。

議会トピックス

●議決対象とした「『未知への挑戦』とくしま行動計画」(変更案)について、全議員勉強会を開催しました(2月10日)。

●2月定例会閉会日において、議員全員がウクライナの国旗カラーのマスクを着用し、ロシアのウクライナ侵略への抗議の意を表しました(3月9日)。



議員連盟の活動

●医療・福祉関係議員連盟が、ヤングケアラーの現状と課題について、勉強会を開催しました(1月31日)。

●防衛議員連盟が、地政学的リスクへの備えについて、勉強会を開催しました(2月10日)。

2月定例会委員会の概要

常任委員会

特別委員会

●総務委員会

交番や駐在所の再編、オロナミンC球場の整備に係る検討状況、カーボンニュートラルの実現に向けた県庁GXの推進、大学での光応用人材の育成による地方創生の取り組みなどについて質疑及び提言がありました。

●文教厚生委員会

新型コロナウイルス追加接種の高齢者への接種状況や交互接種に係る副反応、新型コロナウイルスに対応する看護師等への支援、分散登校等でのタブレット端末を活用した学習方法や課題などについて質疑及び提言がありました。

●経済委員会

徳島県事業継続応援金の制度の概要と特色、県内の3つのDMOと連携した観光振興、ターンテーブルを活用した取り組み、ジビエ処理加工施設の整備状況などについて質疑及び提言がありました。

●県土整備委員会

JR牟岐線への新駅設置に係る概算工事費見込み、新たな売電料金契約に向けた検討、県消費者基本計画改定案に対するパブリックコメントの反映状況、新型コロナウイルス対策の今後の対応などについて質疑及び提言がありました。

●地方創生対策特別委員会

徳島木のおもちゃ美術館の現状、ターンテーブルの今後の取り組み、空き家対策、新規就農による移住・定住促進の取り組み、農林水産業の担い手確保、遍路道などについて質疑及び提言がありました。

●防災・感染症対策特別委員会

新型コロナウイルスに関し、ワクチンの追加接種、保健所の体制、学校の休業等の対応、検査キットの不足、また、災害時身元確認への歯科診療データの活用、事前復興まちづくりの取り組みなどについて質疑及び提言がありました。

●消費者・環境対策特別委員会

若年者に対する消費者教育、鳴門わかめの産地偽装防止対策、水素立県とくしまに係る情報発信、海岸漂着物対策、森林環境譲与税を活用した取り組み、河川における環境への配慮などについて質疑及び提言がありました。

●次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

人口減少社会に対応した小中一貫教育、マリッサとくしまにおけるコロナ禍での取り組みやオンラインの活用、子ども食堂の営業許可の緩和、子育て世帯訪問支援臨時特例事業などについて質疑及び提言がありました。

県議会表彰

スポーツや学芸部門の全国大会や世界大会で最優秀の成績を収めた個人24名と3団体の児童、生徒及び学生の皆さんに対し、県議会表彰を授与しました。



表彰者一覧及び岩丸議長のお祝いメッセージはこちら

パネル展（徳島県議会と大学との包括連携協定事業）

徳島県議会議事堂1階ホールにおいて、2月定例会開会中（令和4年2月10日から3月9日まで）、四国大学における県南地域づくりキャンパス苔アート作成事業やeスポーツに関する取り組みなどを紹介するパネルを展示しました。

県議会の紹介動画

「教えてすだちくん みんなの徳島県議会劇場」を制作しました



すだちくんが県議会について、分かりやすく紹介するよ。みんな見てね。



関西広域連合議会議員の選出

次の議員が選出されました。



おかもととみじ 岡本富治議員

監査委員	特別委員会				議会運営委員会	常任委員会				徳島県議会議長	徳島県議会正副議長	
	次世代育成・少子高齢化対策	防災・感染症対策	消費者・環境対策	地方創生対策		県土整備	文教厚生	経済	総務			
西沢貴朗 梶原一哉	長池文武 井下泰憲	大塚明廣 岩丸正史	喜多宏思 白木春夫	北島一人 古川広志	元木章生 吉田益子	福山博史 岡田理絵	岩佐義弘 立川了大	原徹臣 寺井正邇	増富義明 山西国朗	須見一仁 北島一人	南恒生	井川龍一
	立川了大 井川龍二	浪越憲一 東条恭子	扶川敦 重清佳之	黒崎章 増富義明	東条恭子 杉本直樹	黒崎章 長池文武	岡田理絵 吉田益子	仁木啓人 井川龍二	古川広志 北島一人	須見一仁 岡本富治	副議長	
	達田良子 岡田理絵	庄野昌彦 西沢貴朗	吉田益子 山田正邇	元木章生 嘉見博之	重清佳之 立川了大	杉本直樹 浪越憲一	白木春夫 山田豊	達田良子 梶原一哉	東条恭子 庄野昌彦	岡本富治 嘉見博之		
	岡杉佑樹 杉本直樹	梶原一哉	寺井正邇	嘉見博之								

議会見学に来られた方々

- 神領小学校（神山町）
- 徳島文理小学校（徳島市）ほか2グループ

申込方法等は
こちら



議会日程

※日程は予定であり、変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の状況により、「本会議の傍聴」及び「委員会の視聴」の自粛をお願いする場合があります。

- 6月9日…………… 常任委員会
- 6月10,13日…………… 特別委員会
- 6月14日…………… 本会議（開会）
- 6月16日…………… 本会議（代表質問・一般質問）
- 6月17日…………… 本会議（一般質問）
- 6月21,22,24,27日… 常任委員会
- 6月28,29日…………… 特別委員会
- 7月4日…………… 本会議（閉会）

令和4年6月
定例会の日程

この広報紙は市役所、町村役場、または県の総合県民局、各庁舎、県庁内のふれあいセンター、県議会議務局でお渡ししています。

若者のみらい	無所属	グローバル	護民官	公明党 県議団	日本共産党	新風とくしま	新しい県政を創る会	徳島県議会自由民主党	会派名
				古川広志 会長	山田豊 会長	庄野昌彦 会長	仁木啓人 副会長	岡田理絵 副会長	正副会長
				梶原一哉 幹事長	達田良子 幹事長	白木春夫 幹事長	東条恭子 幹事長	立川了大 副幹事長	幹事長等
黒崎章	岡佑樹	浪越憲一	扶川敦				長池文武	西沢貴朗 大塚明廣 岩佐義弘 原徹臣 須見一仁 福山博史	会員
								北島一人 南恒生 増富義明 岡本富治 喜多宏思 井川龍二	会員
1名	1名	1名	1名	2名	2名	2名	4名	22名	人員

徳島県議会議長

（令和四年四月一日現在）

徳島県議会議会派名簿